

事業コード	H24-建-継-12		区 分	国庫補助 県単独
事業名	総合流域防災事業		部局課室名	建設部 河川砂防課
事業種別	河川改修		班 名	河川・ダム・海岸班 (tel) 018-860-2514
路線名等	一級河川 福士川		担当課長名	齋藤 春美
箇所名	鹿角市花輪下夕町		担当者名	市川 利和
総合計画との関連	政策コード	11	政策名	生活基盤の整備
	施策コード	02	施策名	災害に強い県土づくりと社会資本の長寿命化
	指標コード	01	施策目標(指標)名	土砂災害防止施設、河川、海岸の整備

1. 事業の概要

事業期間	H14 ~ H32 (19年)	総事業費	31.3億円	国庫補助率	1/2	
事業規模	計画延長 L = 1,258 m 計画高水流量 Q = 100m ³ /s(1/10)					
事業の立案に至る背景	福士川は、鹿角市の中心である花輪の市街地を横断している1級河川である。福士川は勾配が急且つ、河床が堤内地より高くなっており、明治36,38,50,55年に水害を受けている。特に昭和38年の水害は210戸の家屋浸水が発生し、戦後最大の規模のものであった。これを機に抜本的な治水事業として昭和60年より米代川への福士川放水路に着手し、当該事業は平成12年に完成している。しかし、治水上の最重要区間である市街地内の改修は未着手であることから、地元より強い要望を受け、第1期工事として整備するものである。					
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・洪水被害の減少として、戦後最大の被害が発生した、昭和38年の洪水規模相当の流量に対応した断面を確保し、浸水被害を防止する。 ・地元住民が水に親しめるような環境に配慮した川づくりを行う。 					
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)		計 画 時	評 価 時	増 減	理 由 等	
	事業費	3,128,000	3,128,000	0		
	経費内訳	工事費	1,022,900	1,022,900	0	
		用補費	1,754,300	1,754,300	0	
		その他	350,800	350,800	0	
	財源内訳	国庫補助	1,564,000	1,564,000	0	
		県債	1,407,600	1,407,600	0	
その他		0	0	0		
一般財源		156,400	156,400	0		
事業内容	築堤、掘削、護岸工、橋梁工等	築堤、掘削、護岸工、橋梁工等				
事業の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・全体事業 31.3億円 ・平成23年度末投資額 10.4億円 ・進捗率 33.2% 					
事業推進上の課題	移転家屋が多いことから、支障物件の移転交渉等には時間を要する。					
関連する計画等	「ふるさと秋田元気創造プラン」で5つの戦略を支える横断的な取組の(4)社会資本整備の推進の中で水害・土砂災害への対応力強化が位置付けられている。					
情勢の変化及び長期継続の理由	特になし					
事業効率把握の手法及び効果	指標名	河川整備率				
	指標式	河川整備率 = 河川改修 / 要改修延長				
	指標の種類	成果指標	業績指標	低減指標の有無	有 無	
	目標値 a	45.1 %		データ等の出典	県河川砂防課	
	実績値 b	45.4 %				
達成率 b / a	100.7 %		把握の時期	平成24年3月		

前回評価結果等	選定または継続 改善 見直し 保留または中止
	指摘事項
	特になし
	指摘事項への対応
	特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評 価 の 内 容 (特 記 事 項)	評 価 点
必 要 性	福士川の特徴として、川幅が狭くかつ急勾配（氾濫時の河川水の勢いが激しい）であり、河床が堤内地より高い（氾濫しやすく、水が引かない）天井河川であることから、過去より水害発生時には家屋や農地に大きな浸水被害が発生しており、早期の完成が望まれている。	30点
緊 急 性	河川未改修区間については、特に流下能力が低く川幅も狭小且つ天井河川であるため洪水発生危険度が高く、過去には浸水面積118ha、浸水家屋210戸という水害が発生しており、緊急性が高い地区となっている。	10点
有 効 性	改修を実施することにより、急勾配が緩和され且つ河床が堤内地より低くなるため、洪水時に河川水を安全に流下させることが出来るので、有効性は高い。	15点
効 率 性	（費用対効果） 費用便益比は7.12であり事業の効率性は高い。 （コスト縮減の取組状況） 発生残土を他工区へ流用したり、排水樋管の統廃合等を実施し事業の促進に努めている。	15点
熟 度	地元鹿角市より河川改修の要望書が提出されている。また、地元の改修に関する意向が強く、協力的であり、早期の完成が望まれている。	21点
判 定	ランク () 地元からの要望が高く、「必要性」「有効性」「効率性」等から、事業の重要性は高く評価できるため、継続して事業を実施し、早期完成が望まれる。	91点
総 合 評 価	継続 改善して継続 見直し 中止 事業継続は妥当である。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等（対応方針）

引き続きコスト縮減に努めながら、事業を継続する。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

評価種別 継続箇所評価
適用基準名 河川改修事業

事業コード (H24-建-継-12)
箇所名 (鹿角市花輪下夕町)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要	
必要性	想定氾濫区域内の状況					
	浸水戸数	50戸以上 49~10戸 10戸未満	10 7 3	10		
	浸水面積	60ha以上 59~10ha 10ha未満	10 7 3	10		
	重要な公共施設	3施設以上 2~1施設 無し	5 3 0	5		
	整備計画の策定					
	関係者、関係機関との調整	整備計画策定済み 協議中であるが特段問題ない 策定に着手していないが予定がある 予定無し	5 3 1 0	5		
	計			30	30	
	緊急性	災害発生危険度				
		改修目標流量に対する現況流下能力	40%未満 40~59% 60%以上	10 7 5	5	
		秋田県水防計画				
重要水防地域		評定基準区分A 評定基準区分B	5 3	5		
計				15	10	
有効性	河川整備の有効性					
	安全度	災害防止等効果が発現する 災害防止効果は現状と変わらない	7 0	7		
	親水性	安全に川と親しむ場として利用が見込まれる 親水性は現状と変わらない	5 0	5		
	地域開発の状況	都市計画区域の存する地域 地域開発の計画がある 予定無し	3 1 0	3		
	計			15	15	
効率性	事業の投資効果					
	費用便益比 (B/C)	1.0以上 1.0未満	5 0	5		
	事業実施コストの縮減					
	該当項目数	3項目以上 2項目 1項目 無し	5 3 1 0	5		
	当初計画との比較					
	当初計画事業費からの縮減	減少または10%未満の増加 10%以上30%未満の増加 30%以上の増加	5 3 0	5		
計			15	15		
熟度	地元との合意形成の状況					
	地域住民の事業実施の意向	意向が強く要件の同意をクリアしている 意向が強く要件の同意を概ね得ている 意向が一部で強いがまだ要件の同意は得ていない	5 3 1	3		
	市町村の参画	積極的に参画し要望書等の提出がある 参画している 参画していない	5 3 0	3		
	事業の進捗状況					
	進捗率	計画より進捗している 概ね進捗 (90~100%未満) 計画より遅れている (90%未満)	10 5 3	10		
	環境との調和への配慮状況					
	環境保全への配慮	システムでの環境配慮事項が3事項以上 システムでの環境配慮事項が1~2事項 システムでの環境配慮事項がない	5 3 0	5	システム = 秋田県公共事業環境配慮システム	
計			25	21		
合計			100	91		

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
	優先度がかなり高い	80点以上		
	優先度が高い	60点以上~80点未満		
	優先度が低い	60点未満		